

令和3年6月16日

## 高大連携協定の調印式の模様

令和3年6月15日(火)に当校と兵庫県立小野高等学校(兵庫県小野市)との間で、教育訓練に係る包括的な連携及び協力に関して、協定を締結し調印式を行いました。

連携は、小野高校が開講する授業への当校講師の派遣、教育訓練上の諸課題に対応する情報交換及び研究等についての取り組みとなります。

協定締結に当たって、小野高等学校の加嶋幸彦校長から以下のごあいさつをいただきました

『高校で学習する科目については、学習指導要領に基づいて進められる内容のほか、学校の特色に応じて独自で内容を設定することができます。ビジネス探究科に設置する「グローバルビジネス」もこの学校設定科目にあたります。地域ならではの商品に関する理解を深めるとともに、その商品の海外への販路開拓を研究しながら、流通について学ぶとともに、英語力をはじめ、海外との取引に必要な幅広い知識や技術の習得を目的としています。今後、港湾職業能力開発大学校神戸校のご支援をいただきながら、貿易に関する実務等を学習したのち、様々な企業の方々のご協力のもと、地元商品の海外への販路開拓に取り組んでいく生徒たちが、世界に突き抜けていく実践的諸活動の戦略を学び、どのように成長していくか、楽しみでなりません』とごあいさつをいただきました。

続いて当校から吉野校長があいさつをいたしました。

『神戸港は、国際戦略港湾の一つとして日本の物流を支えている重要な港ですが、人手不足が顕著で、またデジタルトランスフォーメーション(DX)、温暖化対策のための脱炭素化など、港湾物流を取り巻く環境は大きく変化しています。このような状況に対応するため、伝統校であり先端的な取組をされている小野高校と港湾物流に関する人材育成をしてきた当校とにより、この地域の物流・経済を支え、国際的に活躍できる人材の育成をしていきたいと考えています。』

両校長からのごあいさつの後、協定書に署名し、最後に記念撮影をしました。



あいさつする小野高校加嶋校長



あいさつする港湾短大神戸校吉野校長



署名する吉野校長(左)と  
加嶋校長(右)



協定書を手にする吉野校長(左)  
と加嶋校長(右)